

助成事業実施報告書

団体名 アジア子ども基金

代表者・役職名 氏名 代表 西澤 砂弥香

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ストップ!!子どものPTSD、楽しいイベントで、聞き取り調査

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

タイの小さな村で絵本図書館を設立するために団体を立ち上げ、以来アジアの子どもたちの健やかな成長を願って活動を行っています。2011年の大震災後、「街の復興は自分たちの手で!」を合言葉に、地元のお母さんたちと一緒に子どもたちの心の復興を目指し、2013年10月に石巻市に子ども未来図書館を設立しました。現在会員数は35名です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

震災から10年が経ち、子どものPTSDが表面化してきたと感じることが増えてきました。そこで、これまで関係を築いてきた団体のある塩釜市・女川町、石巻市で、子どもたちが気軽に集まれるイベントを開催し、その中で震災時のことや、今感じることを話してもらい、内容をまとめ、被災地内外へ発信することで、深層ニーズを探ります。子どものPTSDの表面化を、今日になって感じるのは、当時は言葉として伝える手段を持っていなかった子どもたちが、伝えられるようになったこと、思春期を迎え、様々なことを考えるようになったことが要因と思われます。子どものPTSDは、周囲の大人たちとのかかわり方の中で、大きく改善することがわかっています。イベント開催時にインタビューするのは、普段は閉ざしている心の隙間から、本音の声が聴けると考えるからです。話すことが、彼らの癒しにもつながっていきます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

● 心のケア聞き取り調査

下記イベント時に合わせて、来られた方々へ聞き取り調査を行いました。方法や内容は事前に認定心理士のご指導をいただきました。

・ 子ども向けのイベント一万華鏡工作教室(全3回)

子どもの心のケアに寄り添うために、心のケアとして医学的にも癒し効果が証明されている万華鏡を作る工作教室を開催しました。

・ 読み聞かせ会や楽しいイベント(全6回)

コロナ禍ではありましたが、塩釜子ども食堂(塩釜市)、読み聞かせ会(石巻)、海苔工場の見学会「海はともだち」(石巻市)など、各地域で独自の楽しい行事を行い、聞き取り調査を行いました。

・ 心のケア聞き取り調査フォローアップ

上記イベント以外にも、密にならないように、日常的に来館した子どもたちと話をする中で、個別に聞き取り調査を行いました

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

万華鏡教室は3回80名の参加、読み聞かせや楽しいイベントは6回250名の参加がありました。活動の内容、聞き取り調査の内容を取りまとめ、心理士の方のアドバイスを加えた報告書を作成し、被災地内外に情報発信をしました。また、作成にあたっては、子どもたちの声をまとめだけではなく、被災された皆さんにご自身の経験を記載していただくことで、事業全体が受け身ではなく、震災直後と現在の心の変化についても知ることができるように工夫しました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

コロナ禍にあり、イベント実施が非常に難しかったです。それでも密にならないように小グループに分けたり、検温、換気やアルコール消毒など感染症対策を講じて敢行した各種イベントでは「コロナで軒並みイベントや出かけることがなくなってしまい、子ども達が楽しむ場を提供してもらいすごく嬉しかったです」という声も多く聞きました。

震災によるものだけではなく、コロナによって、さらに生活基盤が揺らいでしまった被災者も多くいるため、今後は、こうした方々にも手を差し伸べられる活動を続けていきたいと思えます。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし